

高湯温泉 源泉かけ流し宣言



平成22年6月1日
源泉かけ流し宣言

かけ流し宣言にあたっては、当該温泉地の入浴・宿泊施設全てが「源泉かけ流し」である必要がある。

温泉(大分県の8ヶ所であり、今回の高湯温泉の「源泉かけ流し宣言」は東北初なのである。

源泉かけ流し宣言の意義とは…

旅行者が温泉地(温泉宿を

訪問する際、「源泉かけ流し」かどうかを選択基準の一つとなる。そのため、「その宿が『源泉かけ流し』かどうか」を調べる事が多い。しかしながら、「源泉かけ流し宣言」を行った温泉地では、全ての施設がそうである。

「源泉かけ流し宣言」を提唱する松田教授は、「かけ流しだけでなく、すべての源泉が自然湧出なのも素晴らしい。理想的な温泉地で、今後なかなか出てこないのでは」と、高湯温泉を評価している。

「源泉かけ流し」とは温泉の浴槽への給湯排水方法の一つで、源泉から自然に湧出または機械的に汲み上げた温泉を浴槽に加水・加温せずに供給し、浴槽から溢れ出た湯を循環させず排出することを言う。「源泉

現在まで「源泉かけ流し宣言」を行った温泉地は、川湯温泉、摩周温泉、ぬかびら源泉郷(以上、北海道)、関温泉(新潟県)、野沢温泉、渋温泉(以上、長野県)、十津川温泉郷(奈良県)、長湯



▲平成22年6月1日 福島県庁にて



札幌国際大学 観光学部
松田 忠徳 教授

＜松田忠徳教授プロフィール＞

北海道虻田町(現・洞爺湖町)洞爺湖温泉生まれ。産湯は洞爺湖温泉で、混浴の共同浴場をゆりかごに育つ。東京外国語大学大学院修了(モンゴル学専攻)専門は温泉学で、日本で初の温泉学教授として話題になる。小型キャンピングカーで日本列島を2回縦断し、2,500湯を制覇するという前代未聞の奇行を達成する。この間車の中から日本経済新聞の『列島縦断2500湯』をはじめ、新聞、雑誌等数本の連載をこなす。季刊雑誌「温泉主義」(くまざ出版)編集長。日本温泉総合研究所初代所長。ウェブマガジン「毎日が温泉.com」編集長。札幌国際大学附属北海道地域・観光研究センター長。これまでに浸かった温泉の数は4,600を越す。著書、翻訳書は130冊を越す。

全てが「源泉かけ流し」高湯の温泉



玉子湯



花月ハイランドホテル



安達屋旅館



吾妻屋



ひげの家



高原荘



白樺荘



静心山荘



高湯温泉のんびり館



あったか湯